

2014年1月入職

ふじさきかなこ  
藤崎香菜子

## セクションを越えて、クリニック全体の潤滑油になる

### スタッフ同士がお互いに尊敬し合えるように

スタッフ同士が円滑にコミュニケーションを取り合い、全職員が一丸となって治療に取り組む。これは、私が理想として掲げているクリニック像です。ですが、全員のベクトルを揃えることはそう簡単にはいきません。お互いの主張がかみ合わずに衝突してしまったり、言葉尻がきつくなったことから誤解が生じたり。でも、患者さまに良いサービスを提供したいというゴールは、みんな同じだと思うんです。意見が食い違ったとしても、その気持ちは共通しているはず。だから私は、何か伝達事項があるときもマイルドな言葉に置き換えるなど、スタッフ間に軋轢を生じさせないことを心掛けています。

言うならば、クリニックの潤滑油ですね。まだ上手に立ち回れていない部分もあるのですが、患者さまにとって居心地の良いクリニックをつくるためには、セクションを越えて密な連携を図っていくことが欠かせません。たとえば他職種の方に対してすぐをお願いしたいことがあったときにも、関係性が良いと気軽にポンと頼める。そういったスピード感が、治療の効果を高めることもあるのです。看護師だけでは透析は出来ません。全てのスタッフが職種をまたいでお互いに尊敬し合いながら、ざっくばらんに意見を言えるようなクリニックをつくっていくことが、今後の目標です。



### あんな悲しい思いは、もうしたくない



以前、居酒屋を経営されている患者さまを担当したとき、足をアンプタすることになりました。その方からは「これからも日野さんに見てほしい」という言葉をいただいたのですが、ありがたい反面、「傷が出来たときにもっと強く入院を勧めればよかったのでは」と、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。信頼関係を形成できたことはうれしかったのですが、とにかく悲しかった。ケアの中でもっと出来ること

があったはずですから。その経験を踏まえ、今は自己学習への意欲が強まっています。引き出しを増やして、色々な対応方法身につけられるようになりたい。思いやりエキスパートに選ばれたことは大きなチャンスです。フットケアやオンラインHDFなどの新しい治療法を学べる機会もあるし、他のクリニックでの事例も知ることできる。日々勉強しながら、多くの患者さまの未来を少しでも明るいものにしていければと思っています。

誠心誠意 知識と技術を  
身につけ、患者さまに安心して頂ける  
看護師になります

藤崎 香菜子